

令和7年度第2回 大和市文化財保護審議会 会議録

日時：令和8年2月26日（木）
午後2時00分～3時30分
シリウス6階 603中会議室

出席者等（敬称略）

委員 （5名）	◎金子 皓彦、○鈴木 通大、坂本 要、田中 徳久、神崎 直美
事務局 （4名）	文化振興課長、市史・文化財係長、市史・文化財係職員2名
傍聴者	なし

◎…会長 ○…職務代理者

公開・非公開の状況

■公開 □非公開 □一部非公開

会議次第

1 開会

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理事業の報告について 資料1

(2) 令和7年度文化財保護事業の報告について 資料2

3 その他

4 閉会

会議要旨

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理事業の報告について

事務局が作成した事業報告（概要）資料1-1、指定管理者が作成した事業報告資料1-2
～4について質疑応答。

令和7年度の来園者数は、令和6年度と同程度と予想している。今回の聴取事項をもとに、当該年度の指定管理業務の管理運営状況の評価をおこなう。

(2) 令和7年度文化財保護事業の報告について

事務局が作成した事業報告資料2について質疑応答。

3 その他

○開発事業等における近世・近代の埋蔵文化財保護について

埋蔵文化財包蔵地内で土木工事が行われる際に、遺跡が壊れる可能性を勘案し調査を実施してきたが、今後新たに近世・近代の遺跡の中で埋蔵文化財包蔵地として扱うかどうかについては、有識者等の意見を踏まえて、周知することが適当かどうかを判断するようになる。本市の場合は、文化財保護審議会に諮り、意見を伺うことになる。

○市内のお囃子調査の結果報告

前回の審議会にて市内のお囃子団体の実施状況について質問があったため、文化財保護指導委員に依頼し、各地区の活動状況を確認した。

発言要旨

(□委員 △事務局)

2 議事

(1) 令和7年度郷土民家園指定管理事業の報告について

事務局より、令和7年度郷土民家園指定管理事業の報告資料1について説明。

【総括】

□既存の事業だけでなく、新規事業の開拓にも取り組んでいる。団体客や外国人観光客なども集客できるような、施設づくりや事業の発展を期待している。

事務局にはただいまの委員の意見を集約して、来年度におこなう指定管理施設の管理運営状況の評価用の資料を作成してもらいたい。

【来園者数の推移について】

△今年度の来園者数は、2月、3月が昨年度並みであった場合、昨年度と同程度と見込んでいる。

【団体見学について】

△今年度は、昨年度に比して減少する見込み。市外の小学校からの問い合わせ・見学は多いが、市内小学校にもう少し来園していただきたいと考えている。次年度以降、指定管理者も各小学校の方に働きかけを行いたいとしているので、期待したい。

□いくつか複合施設があると、遠足などで行きやすいが、古民家だけだと、なかなか難しい。民家園は泉の森にあるので、自然観察を含んだ遠足にして、お弁当が食べられて、かつ、バスの駐車場があるという条件が整うから、市外の学校はここを選択しやすいのではないかと。

△市内の学校は、朝登校し徒歩で泉の森まで行って、給食までに帰って来れるぐらいの距離の学校が見学に来ている。小学3年生で昔のくらしを学習するので、民具を借りたいと相談される学校もある。民具を貸出した学校は、歩いて民家園に行くには距離があるようなところにあるので、学校の位置関係で見学に行くか民具を借用するかで分かれているようだ。少し遠方の学校もどうやって呼び込むか今後の課題。

□児童生徒向けに、市内の史跡を含めたスタンプラリーみたいなことをやってみたらどうか。例えば市内の施設や遺跡など3ヶ所巡ると市から記念品が出るとか、1年間や在学中などの期間のできるものを検討しても良いのではないか。

【見学ワークシートについて】

□多言語の見学ワークシートを用意しているが、スペイン語版を作成した理由を知りたい。

△大和市はスペイン語を母語にしている方が非常に多い。特にペルーの方が多い。

□中国語版を作ることはないのか。

△市内在住の外国人で、最近是中国の方が一番多くなったこともあり、指定管理者に働きかけていきたい。

【古民家内の説明板について】

□古民家内の間取りなどの説明板についても、多言語での解説があるとよい。

△指定管理者に提案する。

【自主事業について】

□春の民家園まつりは来園者も増えているが、夏のお盆の砂盛り展示から秋冬のヨーカゾーの目籠展示までは、平均来園者数が下がっている。アピール度が少ないのか、他に要因があるのか、指定管理者や担当課で総括し、未来に向けて頑張ってもらいたい。

△ここ最近の猛暑で、夏は来園者数も減少傾向にある。

□年中行事の展示をやっているときに、何か事業やイベントをやっていると相乗効果もある。年中行事も毎年同じことをやっていると、1回見たと足が向かないこともあるので、他のイベントと掛け合わせるなど工夫をしてみるといいのではないか。

□正月行事の前後で、しめ縄作りや羽子板大会とか、餅つきなどをやってもいいのではないか。

(2) 令和7年度文化財保護事業の報告について

事務局より資料2-1「令和7年度 文化財保護事業の報告」、資料2-2「大和市指定文化財一覧」、資料2-33館合同企画展チラシについて説明。

【総括】

□委員の意見を参考にして、来年度も事業にあたってもらいたい。

【天然記念物「ケヤキ（下和田）」について】

△令和6年9月に寄附に対する手続きを完了し、昨年12月から保存用地の整備工事を行っている。3月には工事が完了し、市民の方に開放できる予定。

□ケヤキの樹木診断の結果について、樹勢低下のサインの可能性が指摘されている。これまで、個人宅の敷地内にあり、外から眺めるようだったが、市に寄付されスロープを作り近くまで公開されることで、どう影響があるのか、気にかけてほしい。

【下鶴間ふるさと館について】

△今年度より公開方法を変更、住宅の外観のみを公開し、母屋は月2回の公開日（第2水曜日と第4日曜日）を設けている。ただし、事前に団体の利用依頼があったときには公開している。

□母屋の公開を水曜日にしたのはなぜか。平日よりも土日の方が来やすいのではないか。

△公開日を決める際に曜日別のデータを精査したところ、比較的水曜日の来館者数が多かったことと、祝日と重なることが少ない曜日であることを踏まえて1日は水曜日とした。

□母屋をほとんど公開しないということで、年中行事や展示に影響が出たのではないか。

△園内の雨風のかからないところに新たにピクチャーレールを設置し、そこでパネル解説を掲示している。また、事務室内にパーテーションを置いて展示ケースに見立て、5月人形や繭玉団子などを飾り、外の受付の窓口から展示が見れるようにするなど工夫している。

【市のウォーキングマップについて】

□市のいろいろな機関でウォーキングマップが配布されている。テーマは違っても、コースが同じだったりするので、どこかが集約して文化財マップとして作成・配布したらよいのではないか。その方が無駄もなく、予算的にも抑えられるのではないか。

【特別展「やまと激動の昭和史」について】

□特別展示「やまと激動の昭和史」について。10日間という短い期間に2,070人の来場者数は大きな成果だと言える。

□大和市の近代史を考える上で、例えば厚木飛行場は戦争遺産として負の遺産のように言われることもあるが、知ることによって平和教育にも繋がっていくので、多くの反響があった展示を一つの財産として、次年度以降も繋げていくような試みを期待する。

3 その他

【開発事業等における近世・近代の埋蔵文化財保護について】

△今後、近世・近代の遺跡の中で、市がこの場所を埋蔵文化財包蔵地として周知をしたいと考えた場合には、文化財保護審議会に諮り、意見を伺うことになる。

△市内では、厚木飛行場およびその周辺施設をはじめ、対象となりうる箇所があるので、今後遺跡として保護する必要が出てきたときには、この会議の議題に上がる可能性もある。

【市内のお囃子調査の結果報告】

△市の指定無形民俗文化財の福田神社囃子獅子舞について、以前より保存会から高齢化による会員減少に伴い、指定解除の申し出が出ており、令和6年度末に鈴木委員と坂本委員に同席いただき、道具の調査を行った。

△その際、坂本委員より、福田神社囃子獅子舞の道具の価値を学術的に評価するためにも、市内のお囃子の活動状況や道具類の状態を確認・調査した方が良いとの助言をいただいたため、昨年9月に文化財保護指導員を通じて各地区の活動状況を確認した。

△平成20年に同様の調査をした記録が残っているので、それと比較すると、活動終了または休止中の団体が新たに3団体あった。

□各お囃子団体への調査は、早めに着手することが望ましいが、まずは道具の名称・点数などを目録にできると良い。

△必ずお囃子にはこういう道具がある、という項目が分かれば、アンケートのようなものを作成し、各団体に回答協力をいただけるよう依頼することはできる。

□東京都や千葉県、埼玉県など、他市のお囃子調査の項目事項や調査方法を参考にすると良いだろう。参考になる文献を探して、提供する。